

大会2番目の5、163人が参加
環境とスポーツを結びつけた

「洞爺湖マラソン 2008」

開く

洞 洞爺湖の春を告げる「洞爺湖マラソン2008」（主催 洞爺湖町、壮瞥町、室蘭陸上競技協会など）が5月25日洞爺湖畔コースで開かれました。

今年、サミット開催地とあ

って、1997年の5、284人について多い、5、163人が参加して健脚を競いあいました。

ゲストとして、スピードスケートの清水宏保さんや岡崎朋美さんなど道内出身のオリンピック選手9人も参加して、サミット記念大会を盛り上げました。

当日は、雨と強風というコンディションの中、選手達は、親子2km、マラソン、5km、10kmのそれぞれのコースをさっそうと駆け抜けていきました。

子どもらといっしょに走る招待選手ら



スタートを決める選手ら

今年の最高齢参加者は、男子が92歳の相馬正四（室蘭・パームRC）さん。女子は、75歳の松本あい子（名寄走ろう会）さん。マラソンの男子総合1位には、東京都の篠原充さん（テレビ東京）が連覇を飾りました。同女子は、苫小牧市の太田尚子さん（作AC北海道）が優勝し、8連覇を達成しました。

沿道では、虻田高生、洞爺高生、地域住民らが、給水などのボランティアを行ない、ランナー一人ひとりに激励の声援を送り続けました。

今回は、サミット開催を意識し、先導車は、神奈川工科大学が提供したバイオディーゼル燃料車を使用するなど、環境問題もアピールした大会となりました。

箱根町議会議員 当町を 表敬訪問

平 成18年6月26日洞爺湖町と姉妹都市提携をした箱根町から、西村和夫議長ら総勢13人の町議会議員の皆さんが5月14日来町し、交流を深めました。箱根町議員団の表敬訪問は、合併前の平成14年の旧虻田町訪

箱根町議会議員の皆さんとの記念撮影



問から6年ぶり。今回は、サミット開催に向けての激励と合併後の行政視察を兼ねて当町を訪れました。対面式では、長崎町長が「サミットを成功させ、世界に洞爺湖町をアピールしていきたい」と挨拶。箱根町の西村議長からは「サミットの成功を心から祈っています」との挨拶がありました。

その後吉田副町長から合併の経緯について説明があり、対面式を終了しました。

翌日には、雪蔵貯蔵施設や洞爺湖ビジターセンターなどを視察し、訪問日程を終えました。

雪蔵で説明を聞く議員の皆さん

